

# 情報システム研究室

## 1. はじめに

情報システム研究室は、ネットワーク解析、GIS、データベースなどの情報処理技術を基に、交通関連の調査研究業務において、他研究室と連携して、交通実態調査、交通需要推計・評価、動的交通データ解析などのデータ処理や情報システムの開発・提供を行っています。

## 2. 主な活動内容

### (1) 交通実態調査

これまで、パーソントリップ調査、物資流動調査、道路交通センサス OD 調査などに携わり、実査支援、マスターデータ整備、集計解析、外部へのデータ提供など、交通実態調査に関する一連のデータ処理を効率的に実施する汎用性の高いシステム群を構築しています。

現在は、これらのシステムを活用して、沖縄本島中南部都市圏、西遠都市圏、東京都市圏などのパーソントリップ調査に取り組んでいます。

### (2) 交通需要推計・評価

都市圏などの交通計画の検討においては、構築した交通需要予測モデルに基づくプログラムの開発、分析・評価を行っています。とくに、交通量配分手法や評価手法については、最新技術を取り込み、システム改良を重ねています。

また、モデル構築に必要な基礎データを作成するツールや交通関連データも整備しています。

### (3) 動的交通データ解析

プローブデータ、プローブパーソンデータ、ETCデータなどの多様かつ大規模な動的交通データを用いて、交通行動解析や道路交通特性などの分析・評価を行うためのシステムを開発しています。

また、道路行政の分野において、プローブデータの解析技術を道路の計画・管理や路上工事マネジメントへ適用した支援システムの提供にも取り組んでいます。

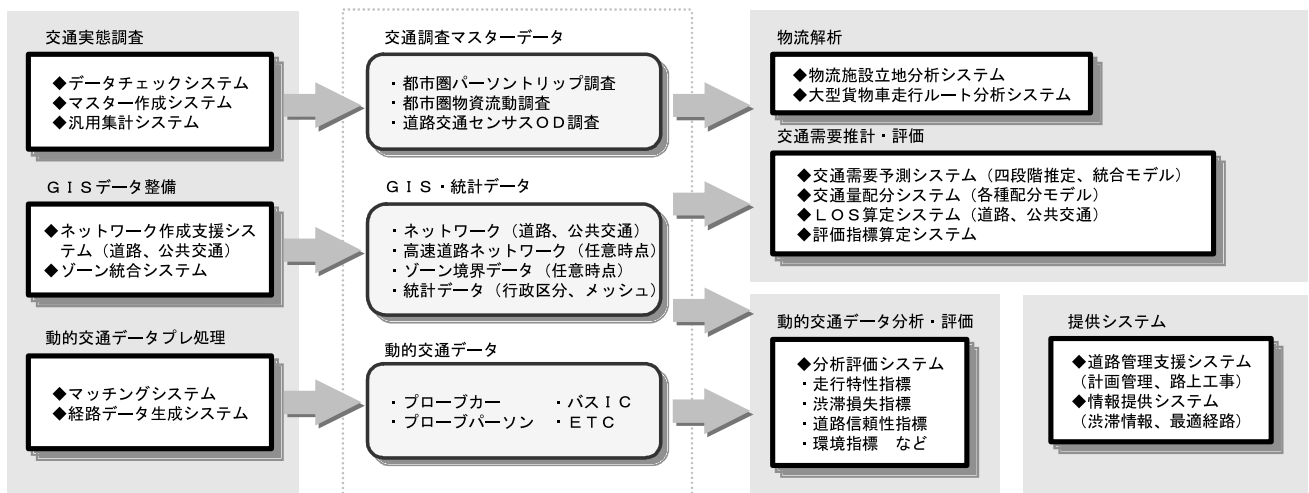


図 主な開発システムの構成